

い
っ
ぱ
い
明
る
く
笑
顔

の
よ
う
に
ひ
ま
わ
り



福尾 絹子
ふく お きぬ こ

(社福)福島県社会福祉事業団
福島県浪江ひまわり荘
救護施設



〒960-8061
西白河郡西郷村大字小田倉字上上野原2-2
TEL : 0248-21-9551
FAX : 0248-25-3973

なぜ福祉の仕事をはじめましたか、何年目?

▲ 38年です。知人の勧めで紹介されたのですが、もともと人と接することが好きで、困っている人をほっとけない性格なので、この仕事をしてみようかなと思いました。

勤めている施設・会社の魅力、福島(相双地域)の魅力を教えてください。

▲ 生活保護法に基づく救護施設なので、障がいをお持ちで経済的にもお一人では生活できない方がご利用されています。なので、温かみのある家庭のような施設だと思います。職員も一人一人に寄り添って、ひまわりのように明るく笑顔いっぱいです。

誰にも負けないあなたのピカイチな介護スキルを教えてください。

▲ 一人一人に寄り添うという気持ちだけは誰にも負けないです。福祉の業界に入って、その気持ちは今も増すばかりです。

施設や現職に就くまでのお話を聞かせてください。

▲ 施設は、浪江焼きそばで有名な浪江町にありますが、原発事故で施設ごと西郷村へ避難し、平成24年3月から仮設施設で事業を継続しています。震災時は、次長職だったのですが、震災直後の3月末で前園長が定年退職されたので、4月1日から私が園長になりました。不安でいっぱいでしたが、「私がやらなければ誰がやるの?」という思いでした。



震災直後で困ったこと、いま困っていることを教えてください。

▲ 直後では、着のみ着のまま避難したことです。もともと出身地は原発のある大熊町であり、今困っていることは仮住まいです。早く「定住」の地に住みたいです。

相双地域で介護職を続けている理由を教えてください。

▲ 仕事に対するの思いです。生活するための仕事ではなく、「生きがい」「働きがい」にも通じるような仕事だからです。この気持ちがあるから、他の職員も頑張っていると思います。それが福祉職の魅力でもありますね。

県外からの福祉・介護人材に求めること、伝えたいことはなんですか。

▲ みんなで力を合わせればなんとかなるということです。いろんなことがありましたが、災害に負けず、原発事故にも負けないで頑張っています。

あなたの人生のテーマを教えてください。

▲ 自分らしさですね。人生は一度しかなく人それぞれに違います。が、やっぱり自分らしい生き方だと納得できることだと思います。

